

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長をめざします ～

小中学校の学びをつなぐ



「すこやか河内学校園」がモデル地域学校園としてスタートして9か月が経ちました。

小中学校教員による相互乗り入れ授業や小中学生の交流活動も計画的に行われ、『つなぐ』をキーワードとする小中一貫教育の成果が少しずつ見えてきたところです。

様々な取組を通して、小中学校の教職員の距離感が狭まり、それぞれの学校の指導の様子や子どもたちの実態が把握できたことは、今後、小中学校の学びをしっかりとつないでいく上で、大きな意味を持ちます。

また、小中学校の学びをつなぐには、小中学校間の連携ばかりでなく、小学校間の連携も重要であると考えます。過日実施した4年生の「冒険活動教室」では、岡本西小と岡本小の合同班で活動する場を設定しました。「初めて顔を会わせたのに、すぐに仲良しになれた」「班の人と励ましあって、仲よく協力しながら活動できた」等、子どもたちの交流も深まったようです。2月に実施する5年生の「臨海自然教室」でも、同様に交流の場を設定し、小学校間の連携を深めていく予定です。

今後も、それぞれの学校が連携し合い、「子どもたちの心身の健やかな成長」をめざして、よりよい教育の実現に力を注いでまいります。保護者の皆様・地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

岡本小学校長 安納 則子

◎ 学校園の「授業」への取り組み

「すこやか河内」学校園では、学校園内の「学びをつなぐ」ことを具体化するために、全教員が毎日行う授業に、共通コンセプト『思考の言語化ー「なぜ」と問いかける授業を通してー』を設定しました。

わたしたちは「考える」とき、頭の中で言葉を使っています。その言葉が筋道の通った、論理的な展開をするようになれば、「考える力（思考力）」も合わせて高まるのではないかと考えられます。

本学校園では、授業における様々な場面で「なぜ」と問いかけ、児童・生徒が考えていることを積極的に「言葉」として引き出そうと試みていきます。その過程で、①表現に必要な語彙を与え、②指導者が表現のモデルを示し、③児童・生徒の発表の機会を適切に設けるといった工夫を授業に加え、児童・生徒が上手に言葉を使いこなすことができるように指導していきます。

◎ 合唱コンクール



10月30日(土)、中学校の合唱コンクールが開催されました。

中学校では、昨年度から学校園の小学校6年生に招待状を出して参観を呼びかけています。今年は台風による悪天候の影響もあり、小学校からの参観者は残念ながらありませんでした。コンクールでは、どのクラスもそれまでの練習の成果を発揮し、熱のこもったすばらしい演奏を聴かせてくれました。

今回は岡本西小の音楽科研究の一環として、コンクールで大賞になった3年生のクラスと、1年生の金賞のクラスが小学校で合唱を披露しました。小学生は、先輩たちの歌声に熱心に聞き入っていました。

中学校では、来年度も小学6年生に招待状を出す予定ですので、保護者の方も合わせて是非ご参観ください。



◎ すこやか河内学校園クリーン活動

11月24日(水)、すこやか河内学校園の小学生(岡本小・岡本西小)全員と中学校1年生で、地域クリーン活動を行いました。

まず、岡本小卒業生を中心とした中学1年生は岡本小へ自転車で移動、岡本西小卒業生を中心とした中学1年生は岡本西小へ徒歩で移動しました。各小学校に到着後、中学生は、各小学校の縦割り班に合流しました。

各小学校で、クリーン活動を始める式のあと、縦割り班に分かれ、分担区域までの道や目的地のゴミ拾いをしました。学年で分担してゴミを分けてとったり、持ち運んだりしました。

各小学校に戻ると、集めたゴミを分別しまとめました。ゴミをまとめ終わったら、各小学校の校庭を会場にして、中学生と小学生の「交流遊び」が行われました。縦割り班を中心に「ドッジボール」や「鬼ごっこ」などを実施しました。中学生は、縦割り班の年長者としてリーダーシップを発揮し、小学生はそのまとまりの中いろいろなゲームを実施できました。天候に恵まれた秋の好日、中学校1年生と小学生とで、楽しい一時を過ごすことができました。



◎ 交流授業

(1) 中学校 渡邊教諭 (6/22 岡本西小, 6/25 岡本小 算数)

児童の授業に対する反応はすばらしく、活気にあふれていた。小学生の知的好奇心の高さと、活動への意欲のすばらしさを、改めて知ることができ、大変良かった。

河内地域学校園「学力向上部会」で現在検討中である、小中ともに学力的に落ち込んでいる領域での授業が展開できると、研究に深まりが出るであろうと考えられる。



(2) 岡本小学校 齋藤教諭 (9/24 中学校 数学)

当日はスムーズに授業に入っていくことができた。休み時間等に校舎内を歩いて、全学年の生徒と触れ合うこともできた。素直に成長している様子が分かり学校の雰囲気がとてもいいと思った。

小学校で身につけた基礎の上に中学の数学があることを改めて実感することができた。

(3) 岡本西小学校 小倉教諭 (11/25 中学校 国語)

子どもたちがどんな中学校生活をしているか大変関心が高く、よりよく成長して欲しいという願いがあった。

小学校卒業から1年も経ってはいないが、のびのびと成長している姿に安心するとともに、さらなる成長を願った。

卒業させてそのままでなく、小中の教員が子どもたちを見守っているという意識を子どもたちに持たせることは、よい結果をもたらすと思う。



(4) 岡本小オープンスクールにおける交流授業への保護者の感想 (11/11)



- ・中学校の先生が来て授業をしてくださっていましたが、子どもたちはとても集中していました。
 - ・これまで学校だよりや小中一貫だよりで紹介されていましたが、ある程度知っていましたが、実際に授業を参観してみて、小中一貫教育が進んでいる様子が分かりました。
- (★左の写真は休み時間に中学校の先生と子どもたちが遊んでいる光景です。子どもたちから「楽しかった。」という声が聞かれました。)

(5) 岡本西小オープンスクールにおける交流授業への保護者の感想 (12/16)



- ・楽しく実験ができていたようです。もっとこんな時間を作っていただけたら、子どもたちも中学に行く楽しみになると思いました。
- ・テンポ良くとても楽しい授業でした。子どもたちも集中していて、使える英語が身につくと思いました。中学での授業が楽しみなようです。
- ・中学に上がる前に雰囲気が分かると、子どもは安心すると思います。先生にユーモアがあり、肯定的な声かけをたくさんしてくださっていたので良かったと思いました。

(6) 中学校オープンスクールにおける交流授業への保護者の感想 (12/3)

○中学生保護者の感想

- ・小学生のときとは違い、皆集中していて雰囲気も違っていた。子どもの成長を感じられ、うれしく思いました。
- ・小学校の先生との交流授業で、キャッチボールのように二人の先生が授業を進め、とてもわかりやすくよかった。もっとどんどん交流授業をやってほしい。

○小学生保護者の感想

- ・生徒一人一人に、先生が丁寧に指導していた。中学校での学習の不安が少し減少した。
- ・中学生があいさつをしてくれ、うれしかった。初めて中学校に来たが、不安が吹き飛んでとても心強かった。





冒険活動教室



岡本小・岡本西小が一緒に活動

12月1日（水）と2日（木）に冒険活動教室がありました。この活動の中に、小学校同士で一緒に活動できることを入れようと、事前に二校の4年生担任が相談し合い、「園内写真オリエンテーリング」を合同班で活動することになりました。一つの班に岡本小から3人程度、岡本西小から5人程度の計8人前後の班にわかれて、冒険活動センター内を探索して回りました。自己紹介をしてから活動したこともあって、楽しく話しながら和やかに活動する姿が見られました。



…4年生児童の感想…



★ 冒険活動は全部が楽しかったです。そのなかでも一番楽しかったのは、園内写真オリエンテーリングです。岡本西小のみんなと仲よくできたし、みんなで協力して、写真と同じ場所をさがすことができましたからです。勇気のどうくつは、真っ暗でとてもこわかったのですが、班の人とはげましまして、出口までたどりつけました。学校に関係なく、みんなで協力できたことがうれしかったです。

（岡本小）

★ 冒険活動の思い出は、園内写真オリエンテーリングです。岡本西小の人とも仲よくなれました。勇気のどうくつは真っ暗でしたが、岡本西小の人が光を当ててくれたので、安心でした。つり橋はゆらゆらゆれておもしろかったし、ちょっとこわかったです。たくさん動き回り、すごく楽しかったです。

（岡本小）

★ 岡本小の、ニックネームが「〇〇」という人とお友だちになりました。お昼や朝・夜の食事のときにもあいさつしてくれてうれしかったです。勇気のどうくつは暗かったけれど、〇〇さんがかいちゅう電灯を持って来ていて照らしてくれたので、うれしかったです。

（岡本西小）

★ 岡本小の人とも協力して、写真と同じ場所をさがすことができました。初めて会った人なのに、仲よくなれたから、とてもいい思い出になりました。もっと岡本小の友だちがほしかったです。来年もがんばりたいです。

（岡本西小）



◎ 中学校説明会のお知らせ

小学校6年生を対象とした、中学生による学校説明会が下記の日時に行われます。主催は古里中・河内中学生徒会です。

- 岡本小学校 1月18日（火）
- 岡本西小学校 1月20日（木）